

令和元年度 落一日記

令和元年6月28日

「ときどきわくわくまちたんけん」

育てている野菜が実を結ぶ頃に、生活科で新しい単元の勉強が始まりました。その名も「ときどきわくわくまちたんけん」。自分のまちに意識を向け、調べてみようという単元です。担任一同、この落合というまちは、子どもたちの目にどう映っているのか、一緒に学習を進めていくことが楽しみでした。まず、子どもたちに、「このまちに気になるものはありますか。」と投げかけてみました。すると口々に「登校するときの駐車場!」「大きなお家があるんだよ。」「大好きな公園!」など、自分のお気に入りの場所や何かわからなくて気になっている場所をたくさん挙げてくれました。そこで、実際に見に行こうと話し合い、自分が見てくるものを決めました。

待ちに待った、6月の28日の金曜日の2・3校時に、まちたんけんに出かけました。消防写真会以来、久しぶりの外出、心配に思う気持ちもありました。しかし、看板や、生き物、建物など、それぞれの見てくるものを一生懸命に探す彼らの姿に、大きな成長を感じました。



階段と自転車が通れる
坂になってるね。

鯉がいるなんて知らなかった。
近くに神社があるんだな。





このひまわり、
わたしより大きいかな？

自転車が通るところと、
歩くところが分かれて
いる！



まちたんけんから帰ってくると、すぐに見てきたものを書きました。どの子も自信をもって「ここにマークがあった。」「神社にきれいな鯉がいた。」「歩道と自転車が分かれている道がある。」と、見てきたこと、気付いたことを書きまとめました。そして、自分が書きまとめたものを持ち寄り、自分たちの地図に印をつけていきました。そうして完成した自分たちだけの地図には、たくさんの気付きがある素晴らしいものとなりました。作った地図について、みんなに発表する姿から、まちの一員としての自覚を感じました。大成功で終わったまちたんけん。2学期でのまちたんけん、今回の学びをどう活かすのかとても楽しみです。

